



2010

B 第2講習
(2日間・14ルセット)

45 COURS
DE TECHNOLOGIE DE CUISINE FRANCAISE MODERNE
PAR M.Gabriel BISCAY、 M.Pierre CHILO

第45回 現代フランス料理技術特別講習会

海バスクと山バスクの魅力あるバスク料理28種の紹介
いずれもカリテ・プリ（美味でリーズナブルな価格で提供できる）のルセット

講師 ガブリエル・ビスカイ氏
ピエール・シロ氏

●主催●

フランス文化を識る会

●後援●

フランス食品振興会（SOPEXA）
フランス料理最高技術者協会
フランス料理アカデミー
フランス国立サン・キャンタン・ホテル学校
社団法人 日本ホテル協会
社団法人 全日本司厨士協会
社団法人 日本エスコフィエ協会
フランス観光開発機構

ASSOCIATION DE LA CULTURE FRANCAISE
フランス文化を識る会



講師 ガブリエル・ビスカイ氏

(M.Gabriel BISCAY)

- ・ M.O.F (フランス国家最優秀技術者の称号)
- ・ フランス料理最高技術者協会会員 (Maîtres Cuisiniers de France)
- ・ フランス料理アカデミー正会員
- ・ フランス国家農事功勞勲章シュヴァリエ
- ・ バスク料理大使
- ・ <ル・テタンジェ>国際料理コンクールグラン・プリ (1980年)
- ・ コンクール・プラ・ショー1位 (1980年)
- ・ ヨーロトック会員

◆略歴◆

1951年 : フランス・バスクの要都ビアリッツに生まれる
1966年~72年 : レストラン<ル・ルレ・ド・パルム> (ビアリッツ) をはじめバスク料理の名店で研鑽を重ねる
1973年~84年 : <ホテル・ソフィテル・ブルボン> (パリ) シェフ・ド・パルティ、レストラン<ラ・マレ> (パリ) でスー・シェフ、レストラン<ルレ・ルイ13世> (パリ) でシェフ、<ホテル・リッツ> (パリ) でプルミエ・スー・シェフ、レストラン<ル・マルカンド> (パリ) でシェフ
1984年~89年 : <ホテル・ロワイヤル・モンソー> (パリ) でグラン・シェフ
1989年~90年 : <ルレ・シャトー・ド・ヴァンセンヌ>でシェフ
1990年~94年 : レストラン<ラペルーズ> (パリ) でシェフ
1995年~99年 : レストラン<プルニエ> (パリ) でシェフ
2000年~ : フランス料理のインターナショナル・アドバイザーや技術指導者として
フランスはもとよりイタリア、ドイツ、イギリス、モロッコ、ロシア、
スペイン、アメリカ他世界各国に招聘される。L'hôtel La Mamounia
(モロッコのマラケッシュ) で、約1年に渡り料理の指導に当たりホテルを
成功に導いた。バスク料理大使としても活躍し、その卓抜した技術力・
指導力は国際的にも極めて高く評価され現在に至る。



講師 ピエール・シロ氏

(M.Pierre CHILO)

バスク料理の名店、<Hotel Restaurant CHILO>のオーナー・シェフ
地元市民や世界から訪れる人々に極めて高く評価されている店です

◆略歴◆

1954年 : バスク地方のバルキュス (Barcus) に生まれる
1968年~74年 : バスクの名店で修行を重ねる
1975年~85年 : ラ・マレ、ギィ・サヴォワ、ホテル・クリヨン、アピシウス、ホテル・
コンコルド・ラファイエット他のパリの名店でシェフ・ド・パルティ
1985年~90年 : バルキュスで親の経営する<ホテル・レストラン・シロ>でシェフ
1990年~ : 後を継ぎ、オーナー・シェフとなる
1999年~ : 2店目のホテル・レストラン<ベドゥゲン>を
バスク地方モレオンに出す



2010

B 第2講習

(2日間・14ルセット)

SOMMAIRE

海バスクと山バスクの多彩で味わいあるバスク料理28種の紹介
いずれもカリテ・プリ（美味でリーズナブルな価格で提供できる）のルセット

❖ 目次 ❖

- 1.Mille feuilles de Sardines Luzienne au fromage des Pyrénées et Jambon de Bayonne
ミルフィユ・ド・サルディン・リュジエンヌ・オ・フロマージュ・デ・ピレネ
・エ・ジャンボン・ド・バイヨンヌ
- 2.Petits piments farcis à la morue, jus de volaille tranché
プティ・ピマン・ファルシ・ア・ラ・モリュ、ジュ・ド・ヴォライユ・トランシェ
- 3.Coquilles Saint-Jacques dorées, Nid de pipérade et Xagarno
コキーユ・サン-ジャック・ドレ、ニド・ピペラード・エ・ザガルノ
- 4.Marmitako (Recette basque à base de Thon)
マルミタコ（マグロをベースにしたバスクのルセット
- 5.Salimi de Palombes
サルミ・ド・パロンブ
- 6.Pavé bayonnais aux marmons glaçés
パベ・バイヨネ・オ・マロン・グラッセ
- 7.Béret Basque
ベレー・バスク
- 8.Roulé de Jambon de Bayonne au fromage de Brebis, Confiture de Piment d'Espelette
ルーレ・ド・ジャンボン・ド・バイヨンヌ・フロマージュ・ド・ブレビ、
コンフィチュール・ド・ピマン・デスペレット
- 9.Escalope de foie gras poêlée sur coussin de blé concassé aux fruits d'hiver
エスカラップ・ド・フォワ・グラ・ポフレ・シュル・キュイツソン・ド・ブレ・コンカッセ・
オ・フリュ・ディヴェール
- 10.L'assiette des pêcheurs de Saint Jean de Luz
ラシエット・デ・ペシユール・ド・サン・ジャ・ド・リュス
- 11.Blanquette d'Agneau de lait des Pyrénées, Riz blanc à la Gaxuxa
ブランケット・ダニヨー・ド・レ・デ・ピレネ、リ・プラン・ア・ラ・ガグサ
- 12.Xamango façon Parmentier au jus de Veau truffé
シャマンゴ・ファソン・パルマンティエ・オ・ジュ・ド・ヴォー・トリュフエ
- 13.Filet Mignon de Porc "Basque", tartelette de cèpes et Jus de Rôti
バスク豚のフィレ・ミニョン、タルタル・ド・セープ・エ・ジュ・ド・ロティ
- 14.Gros macaron de Saint Jean de Luz aux marmons de la forêt d'Iraty
グロ・マカロン・ド・サン・ジャ・ド・リュス
・オ・マロン・ド・ラ・フォレ・ディラティ

❖❖❖



2. Petits piments farcis à la morue, jus de volaille tranché

プティ・ピマン・ファルシ・ア・ラ・モリュ、
ジュ・ド・ヴォライユ・トランシエ



Pour 4 personnes
 1 boite piment « del Piquillo » du pays Basque
 500g morue salée séchée
 40g ail haché très fin
 1/2 botte ciboulette
 50cc huile d'olive
 65g beurre
 105g farine
 100cc cuisson de morue
 250cc lait
 1 petit bouquet garni
 1l fond blanc de volaille
 100cc fond de veau lié
 80g beurre
 pain d'épice

4人分
 1 缶 ピキヨ・ピーマン・デュ・ペイ・バスク
 500g 干しダラ
 40g ニンニク(細かくアッショ)
 1/2 束 シブレット
 50cc オリーヴ・オイル
 65g バター
 105g 小麦粉
 100cc キュイソン・ド・モリュ
 250cc 牛乳
 1 ブーケ・ガルニ(小)
 1l フォン・ブラン・ド・ヴォライユ
 100cc フォン・ド・ヴォー・リエ
 80g ユー
 パン・ペッソ・ピーマン

S P E C I M E N



前日 :

①モリュの皮面を上にして冷水に浸け 24 時間塩抜きする。12 時間後水を取り替える。

翌日 :

①カスロールにモリューを入れて冷水をひたひたまで注ぎブーケ・ガルニを加えて沸騰させエキュメしながら 10 分煮てパソワールに上げエグテしキュイソンは取っておく。

②モリュの皮と骨を取り除いて身をほぐす。

ファルス :

①カスロールにバターとオリーヴ・オイルを入れて熱しアイユアッシェを入れてシュエする。

②小麦粉を加えて良くメランジェし弱火で 15 分キュイする。

③牛乳とモリュのキュイソンを注ぎフエでたえずかき混ぜる。(アパレイユ)

④ピキーヨ(2瓶)を瓶から出してエグテし大きくて形の良いものをファルシ用に、小さいものをファルス用に切る。

⑤身をほぐしたモリューを軽くミキサーにかけピキーヨをメランジェすし、アパレイユに加えエスペレット・ピーマンを振り全体を良く混ぜ合わせる。

⑥ポーションにファルスを詰めピキーヨの頭を下にして持ち口を広げてファルスを絞る

⑦レデュイールしたフォン・ド・ヴォライユにフォン・ド・ヴォーを加え軽くレデュイールしバター・モンテしオリーヴ・オイルを小量加える

ドレサージュ :

①ピキーヨのファルシを電子レンジで温め子 (500W 2分)

②アシエットに温めたピキーヨを2個重り周囲にソースを注ぎオードブルオイルをたらす。

③ピキーヨの裏面にオリーブオイルを刷毛でナペしやを出しへび、トのシナモンする。

S P E C I M E N

